

ビホールド イスラエル 中東時事アップデート 2019年03月25日公開  
(日本時間 3月26日 午前3時 = イスラエル時間 3月25日 午後8時)

.....  
皆さん、シャローム。アミール・ツアルファティです。

こちらは、ジャック・ヒブス牧師、私の友人で、カリフォルニアから来ています。

「リアル・ライフ・ミニストリー」から 250 人の皆さんが、ここを訪れています。  
リアル・ライフ について、少し紹介してください。知らない人もいると思うので。

ジャック牧師：以下【ジ】リアル・ライフは 私達のラジオとテレビ放送で、今回 リアル・ライフ 初の  
ツアーです。(私が) ここに来るのは 今回で 19 回目ですが、リアル・ライフとして公式に来るのは これ  
が初めてです。

アミール：以下【ア】わお！ 今回が「リアル・ライフ・ミニストリー」初めてのツアー。

これは、大部分が ラジオのミニストリーで、アメリカ合衆国中の視聴者全員、誰でも参加可能ですね？  
というより、世界中どこからでもですね？ そして 250 人が参加しました。これは、すごい事です。  
ところで、ここエルサレムは、穏やかな夜です。

これからしばらく私達は、平和な話はせず、2つの大きな事について お話しします。

ガザ地域で、イスラエルに対して エスカレートしている状況について、それから、

トランプ大統領が、つい先ほど 調印した宣言。「ゴラン高原におけるイスラエルの主権承認」について。  
2つの大きな出来事です。

【ア】ジャック牧師、今でも覚えています「エルサレムはイスラエルの首都である」という、トランプ  
大統領の 最初の歴史的宣言の時さえ、テレビの画面が半分に分けられました。敵は、ガザでの暴力に私  
達が対応するよう仕向けました。他の所では、歴史が生まれた というのに。

【ジ】その通り。トランプ宣言に関して、同じことが 今日、起こっています。ちなみにこれは、合法的な  
宣言ですよ。「アメリカ合衆国は、ゴラン高原におけるイスラエルの主権を承認する。」

ある人は 言うかも知れません。「彼に何の権利があるのか？」、「アメリカは何様のつもりだ！」

「我々は、イスラエルが主権を持つべきだとは思わない。」はっきり言うと、それは見当違いです。

なぜなら 神が、御言葉の中で「ゴラン高原は、イスラエルのものだ」と 言うておられるのです。

【ア】その通り。

我々は、ここを 2度創設しましたが、ゴラン高原が、歴史的にも、政治的にも、聖書的にもイスラエルのもの  
である理由は多数あります。そして 52 年後にアメリカ合衆国が、公に「ゴラン高原はイスラエルの領土  
である」と認めているのです。これは、物凄い事です。さて、これから少しだけ イスラエル国土に戻って、  
そして、ここで起こっている事をお伝えします。しかし、念頭に置いてください。私達は、皆さんを怖がら

せようとしているではありません。なぜなら 私達は、最も平和な町、平和の都エルサレムに居ますから。皆さん、言っておきますが、250名の人々がここに到着し、彼らの唯一の危険は「食べ過ぎ」です。そうですよね？

【ジ】その通り。

【ア】ともかく、今朝5時20分まで時間を<sup>さかのぼ</sup>遡りましょう。

2発のロケットが、南部ガザ地区のラファハ近くのハマスの<sup>ぜんしやうち</sup>前哨地にある、ハマス所有の発射台から発射されました。そしてロケットの一発は、テル・アビブの北部 シャロン・バレーにあるイスラエル人の民家に命中し、7人が負傷、その内の2人は子供でした。

残念ながら、この攻撃で4匹の犬が殺害されました。

もちろん、私達は犬の死を<sup>いた</sup>悼んでいます。ハマスは「あれは<sup>じんてき</sup>人的ミスだった」と主張しています。これは興味深いですよ。私達には、誰がどこから発射したのか、はっきり分かっていますから。

またその理由も、私達は、はっきりと知っています。ハマスはあちらの地で、住民達から激しく非難されているのです。彼自身が、誤った政策で財政を切り盛りした為に。実際、非常に多くの人達が、あちら（ガザ地区）では将来がなく、そのために<sup>いせいしや</sup>為政者であるハマスは、そこから人々の目を逸らす目的で、ミサイル発射を行いました。

しかし、それ以上に ジャック牧師、お伝えしますと…

我々には<sup>ちやうほう</sup>諜報があつて、この<sup>ぜんぼう</sup>全貌の裏に イランがいるのです。

2018年5月14日と同等に。実際 彼らは、<sup>せいせんは</sup>イスラム聖戦派とハマスに、何かするように けし掛けて、この歴史的な日に、イスラエルに 恥をかかせようとしているのです。重要な土地（ゴラン高原）が、世界最大の国によって イスラエルの領土であり、イスラエルの主権下であると認識された日です。

【ジ】忘れてはいけません。聖書的ではない世界の視点からは、<sup>よ</sup>世は イスラエルが土地を<sup>せんきよ</sup>占拠していると言います。驚きませんか？

CNN やその他は、イスラエルが 土地を占拠していると言います。

何度も言いますが、それが<sup>よ</sup>世の見方ですが、神は そのようには見ておられません。

しかし 大切なのは、あなたが言ったように、私達は<sup>よげんしや</sup>預言者ではありません。

ただ、私達は、<sup>ひんぼつ</sup>頻発する出来事から 分かります。ですから、今日の<sup>きやう</sup>この<sup>ものすご</sup>物凄い<sup>せんげん</sup>宣言に イスラエルの敵は、じっとしているワケにはいきません。彼らは、それは出来ないのです。

さらに多くの<sup>ぼうどう</sup>暴動が起こるでしょうし、<sup>そしきてき</sup>組織的な出来事が、さらに多く起こるでしょう。

どうして、我々はそんな事を言うのか？

それは 歴史上、彼らがして来た事だからです。しかし、念頭に置いてください。

イスラエルは「我々はロケット攻撃を受けたから、爆弾を落とそう！」などと言いません。

皆さん、知っておいてください。アミールさんと私は、この国で何度も、<sup>ぐんじきち</sup>軍事基地で <sup>ぐんじぜんかいぎ</sup>軍事事前会議（戦略作戦会議）が行われるのを 目にする機会に恵まれました。そこでは、常に<sup>つね</sup>常に<sup>すじやう</sup>頭上をドローンが飛んでいて、これら（ハマス）のロケットやミサイル発射場は、イスラエル国防軍には、よく知られています。イスラエル

は、無差別に報復射撃をしません。これらは、ピンポイントで狙ったものです。と言うと、(皆さんの中でも一部の)人は言うかも知れません。

「ならどうして、イスラエルが報復する時、罪のない人達が死ぬことがあるのだ？」

それは、私達もロケットが発射される様子を見ましたが、ロケットは 保育園や民家、学校から…文字どおり 学校から発射されるのです。

皆さんは、これがエスカレートするのを 目にするでしょう。北のヒズボラも、目にするでしょう。あちら(北側)にも、目を向けておいてください。さっき、あなたが言っていたように、おそらく、イランが関わるでしょう。まさに組織的に。これらは、人的事故ではありません。これらは、イスラエルの敵にとっては 機会を捉えて起こした惨事であって、偶然ではありません。組織的な出来事です。

【ア】ええ。後ほど、また この話に戻って、トランプ大統領について 2 つの類似する出来事が、世界規模で起こっている件を、お聞きしたいと思います。

ただ、1つお伝えしたいのは、ハマスが 朝5時20分に ロケットを発射。

結果として、突然、何の警告もなしに、イスラエル人の民家を襲ったのです。

私達は、こんな行動を誘発するような事は、何もしていません。イスラエルは1時間前、激しい空爆を行い、ガザ地区にある いくつかの重要な拠点のうちで 非常に致命的な標的を攻撃しています。

その1つは、ハマスの 機密諜報機関の本部です。ガザの中でも 最も有名な地域 ラーマッラーと、他にも さらに、どんどん、どんどん、どんどん多くの標的を攻撃していて、これは夜通し続きます。

次に、イスラエル側では、ガザ周辺の道路は全て封鎖され、電車の運行も見合わせられています。ガザ周辺での集会は、全て禁止されています。さらに テル・アビブでさえ、テル・アビブ市 南部のシャロン・バレーでは、万一、ハマスが再び報復した場合に備えて、防空壕(シェルター)の全てが開かれています。

通常 彼らがそれを行うのは、夜間や早朝です。ですので、これから先の 12時間は、非常に興味深い時間となると思います。しかし、仮にハマスが報復しないとすれば、彼らは、自分達がやり過ぎたと理解したという事でしょう。

しかし 皆さん、ベンジャミン・ネタニヤフは、ガザのハマスに対する、イスラエルの作戦を指揮するために、現在イスラエルに向かっています。ゴラン高原におけるイスラエルの主権を認識する、トランプ大統領の宣言に大満足しています。ジャック牧師、私達は、この大統領がこれまでのアメリカの どの大統領とも違う、という話をしていましたね？

【ジ】事実です。

【ア】これまでのアメリカ史上、ドナルド・トランプ以上に、イスラエルに友好的な大統領は 一人もいませんでした。しかしながら、私達は、この大統領のために、更に多くのことが起こり、更に多くが、明らかになるのを目にしています。イスラエルを遥かに超えて。

【ジ】遥かに超えています。

【ア】そこで、ドナルド・トランプが 大統領として、どれほど独特であるか教えてください。おそらく、彼も理解していないか、又は知らない内に、神がどのように彼の事を 用いておられるのか？

【ジ】まず初めに私がお伝えしたいのは、アメリカの創設の父の一人である、ベンジャミン・フランクリ

ンの言葉です。「神は、人の行いを司られる。」私は、この論理は、聖書からのものだと思います。私は、神が、人の行いを司られると信じています。私は、神が「王を廃し、王を立てる」(ダニエル 2:21) と、聖書が告げている事を信じています。

ですから、まさに、ある特定の時期に、神が バラク・オバマを置かれたように、神が、目的のために、それを許され、バラク・オバマが去って、ドナルド・トランプが置かれました。神の目的があるのです。

そして私は、神と、神が聖書で言った事を信じています。

ほら、トランプが選挙活動中、私は彼に賛成ではありませんでした。私は、彼は突拍子もないと思い、初め彼のことは、ただの冗談だと思っていました。それがいきなり、彼は 最有力候補者で、次に彼は 大統領に選ばれました。

誰がそれをしたのか？ 神です。

私の人生で一度もなかった事は言うまでもなく、国の歴史上でも、さっき、あなたが言ったように、イスラエルのために、自ら立ち上がる男。彼は、他の皆がどう思おうが、全く気にしないのです。彼は、お腹の中の子供達のために立ち上がり、アメリカの、お腹の中の子供達を 守っているのです。これまでの大統領には、誰も無かった事です。

ロナルド・レーガンは、私のヒーローですが、トランプは「生命尊重派」の側に立った、ロナルド・レーガンを、さらに凌ぎます。そしてそれは、神を称賛し、神を祝福する事です。

「ジャック！ トランプが神を称賛していると言うのか？」

彼の政策、彼の行動でトランプは、神を称賛しています。霊的な影響を、神が、彼に置かれたのです。もし、あなたがトランプのファンでないなら、それは、個人的な理由かも知れません。私の彼に対する事も、個人的な事です。しかし 彼の政策、彼の大統領としての仕事に、アメリカで私達は、良い意味で衝撃を受け、驚かされています。良いですか？

誰に聞いても、世界経済、世界的指導者達、ヨーロッパ諸国、彼らは、トランプのビジネスや、国境に関する政策の後で、喜んでいますが、ですから、彼のイスラエルに対する友情は…、ところで、私は機会があつて2週間前にアメリカの国務省にいたのですが、これだけは言っておきます。

トランプの最も重要な議題は、イスラエルです。

こんなの、見たことがありますか？

【ア】一度もありません。

【ジ】これは、この終わりの時に、特定の目的のために置かれた神の御手です。

【ア】ええ。私が悲しく思うのは、多くの人が、トランプがイスラエルを裏切るとか、イスラエルに背を向けるだろうとか、トランプが、エルサレムを分断するとか、トランプがパレスチナ国家を創設するとか、

そういう事を<sup>にお</sup>匂わせませす。

エルサレムを、イスラエルの首都であると認識し、大使館をエルサレムに<sup>いてん</sup>移転して、  
そのようにした<sup>あと</sup>後で、エルサレムを分断するなど出来ません。これは全く逆ですから。  
私は、そんな事が起こるとは、信じていません。

トランプが、我々の周辺の領土を もっと<sup>じょうほ</sup>譲歩するように、イスラエルを押しなどと考えてはいけません。  
彼は、我々が シリアから 52 年前に<sup>かくとく</sup>獲得した ゴラン高原を、イスラエルの領土として認識したのです。つまりそれは「平和と国土を引き換えにするという考え方」は、もう筋が通らないという事を 意味しています。そういう事です！

【ジ】聖書的に、それが起こる事を私達は知っています。その時は来ます。なぜなら、神が ヨエル書で言っておられますから。「神が、イスラエルの地を分断した諸国を裁く」と。

現在、トランプが行なっているのは、分断とは<sup>まぎやく</sup>真逆です。

【ア】ええ。私が信じているのは「反キリスト」が入り込むと、ユダヤ人は逃げ、そして彼が土地を分断します。

皆さんに知っておいて欲しいのは、

多くの人が全く気づいていませんが、数日前に大きな出来事がありました。

ポンペオ国務長官が、イスラエルに来ていた時、エルサレムに居たのですが、ずっと...実際には 1948 年にイスラエルが生まれて以来、さらに言えば 1967 年にエルサレムの旧市街を 私達の手に取り戻して以来、国務省の政策は「<sup>なげ</sup>嘆きの壁<sup>かべ</sup>を決してイスラエルの領土であると認めない」というものでした。

<sup>したが</sup>従って「嘆きの壁」を訪れる者は、決してイスラエル<sup>とうきよくしゃ</sup>当局者に<sup>つ</sup>付き添われる事は ありませんでした。

トランプ大統領自身でさえ、大統領就任後に初めて アメリカ国外の外交でイスラエルに来て「嘆きの壁」を訪れた時、あの有名な堂々と「嘆きの壁」を訪問した時、その時でさえ国務省は言ったのです。

「あなたは行っても<sup>かま</sup>構わないが、イスラエル人に付き添われてはいけない。」

「そこが、イスラエルの領土だと 誰かが認めるなんてことは、あってはならない。」

それがなんと、ポンペオ国務長官に何が起こったと思いますか？

史上初めて、高官のトップ、アメリカ政府の外交官トップが「嘆きの壁」を訪れただけでなく、イスラエルの首相に付き添われたのです。

これは、流れを変える事ですよ。なぜなら、ヨーロッパだけでなく、事実上 アメリカは、現場で 基本的にこう言っているのです。「<sup>アルメットディール</sup>世紀の協議が何であれ、嘆きの壁、旧市街、それから 神殿の丘全体は、イスラエルの手中にある」。

【ジ】一つ言わせてください。今、アメリカ合衆国にいる人達、皆さんは、アメリカ国内で「反ユダヤ主義」が急増しているニュースを ずっと聞いているでしょう。「おお！これは、ひどくなって来た！」 「これは、大変だ！」 「わお！ アメリカでも反ユダヤ主義が！」これは、ただのデタラメです。これは最近の、

イスラエルとアメリカの成功、ネタニヤフとトランプが共に成した あらゆる成功を敵視する、我々 西側諸国のプロパガンダです。

そして“反ユダヤ主義”的なものは、アメリカで最近 選ばれたばかりの イスラム教徒の新人議員達から出ている事で、彼らはメディアを掻き乱し、CNN や、MSNBC や、何かに出演しては、まるで一大事のように話します。「なんて事だ！ アメリカは、イスラエルに背を向ける！」とか。完全なる嘘です。

私達は、毎日アメリカのメディアに騙されていますが、それは起こっていません。

アミールさんが話していた、この一致は 間違いないものです。短い期間かも知れません。それはアメリカの有権者次第です。しかし、アメリカの「反ユダヤ主義」の増加は、真実ではありません。これは、今、アメリカとイスラエルの間にある 一致に対する、メディアの激しい敵対に過ぎません。

【ア】驚くのが、トランプ大統領が言っていました、反イスラエルの偏見が広がるのを許しているのは、他でもなく、民主党です。これは驚くべき事です。2年前、私達2人が揃ってゴラン高原に居たのを覚えていますか？ トランプが当選したばかりで、彼が大統領になって2ヶ月ほど経ってから アメリカが巡航ミサイルを使って、シリアで攻撃を行いました。覚えていますか？

【ジ】はい。

【ア】そして、誰もが思っていたのです。「ああ。この男は戦争する気だな。」「この男は、中東に大混乱をもたらすぞ。」しかし私達は、トランプ大統領の行く手に「混乱」は待ち受けていなかったのを目にしています。それどころか、トランプ大統領は最も強く、この一帯の大統領達から、最も恐れられています。何よりも、イスラエルはトランプ大統領に 大きな借りがあります。

彼はずっと、堂々と、全世界の前に立って、恐れず、言うべき事を、はっきりと言って来ました。この人は、私がこれまで見た中で、最も堂々とした政治家であり、最も堂々とした大統領です。

【ジ】私は光栄な事に、何人かの友人、信頼出来る3人が トランプ大統領と直接繋がっています。言い換えれば、私は、トランプと毎週会っている人物を知っていて、彼らと連絡を取り合っています。そこで、今、私に言うことが出来ますが、彼ら全員が同意して言うのは、

「誰も、彼の考えを予測する事は一生出来ない。絶対に、ドナルド・トランプと  
ポーカー（ゲーム）は、するもんじゃない。彼は、全く読めないから。」

アメリカは、かつてこんな風に言っていました。「我々は、あの日に これをする、この日に あれをする。」それが今は、ドナルド・トランプ大統領の手で、誰が苦しんでいるのか分かりますか？

ISIS（イスラム国）と呼ばれる者達。

【ア】彼らは、ほとんど居なくなりました。

【ジ】テロリストと呼ばれる者達です。

最近、アメリカ合衆国で、イスラムやアルカイダ、もしくはISISが動機となったテロ攻撃があったのは、いつですか？ 皆さん、随分と前ですよ？ 2年以上前です。要は、正しい敵認識を持たなければなりません。世の中に敵はいますよ？ しかし、正しく敵を見極めなければなりません。

【ア】悪は、存在します。しかし、私達は屈する事なく、戦わなければなりません。

さて 非常に興味深いのは、今、ドナルド・トランプについて話している最中ですが、ベンジャミン・ネタニヤフについて 少しでも話しましょう。両方ともがロシアとの共謀疑惑で、今度は もう一つ出ました。それについて、どうですか？ 私は、綺麗な言い方を探してみましたが、

【ジ】「デタラメ」は綺麗な言い方ですよ。

【ア】デタラメ？ オッケー。では「デタラメ」（という言い方）で行きます。私は考えていたのですが、彼らは「超愛国家の人物」を取り上げて、彼がまるで、自分の国を裏切ろうとしているように見せかけます。それが、まさに 現在ベンジャミン・ネタニヤフに対して行われていることです。

全力で戦い、死にかけた人。従軍していた時、5度も負傷した人。イスラエルの精鋭軍で、その最も精鋭部隊の歩兵旅団にいた人 ベンジャミン・ネタニヤフが、メディアや、リベラル、その他から非難されているのです。彼らをどう表現すれば良いでしょう。この国の著しく狂った人間達です。それらが 彼のことを、まるで売国奴のように見せかけており、

しかも、その方法はと言うと、ドイツから潜水艦を購入したとか。しかも 面白いのは、ネタニヤフが 彼の持ち株を売却した時、実際それは、潜水艦の残骸から製鉄する電極技術を提供する会社の物で、彼は実際、イスラエルが自分達の潜水艦を一隻購入する2年前に、その持ち株を売っていたのです。しかし彼らは、ネタニヤフのことを貪欲で、イスラエルの治安で金儲けをしようとしている人間、イスラエルの安全を裏切る者のように見せかけているのです。その同じ事、同じ手法、同じテクニック、同じ欺き、同じ・・・もう分かりません。ただ、彼らは人の目に向かって、砂を投げつけているのです。

言っておきますが、いつでも機会があれば、私は ネタニヤフを擁護します。なぜかと言えば、全ての政治家がイスラエルの安全のため、イスラエルの将来のために、ネタニヤフがした事の10%でも行ってくれれば、と 私は願うのです。彼は、昼夜関係なく絶えず働いています。それから、イスラエルは、メキシコやカナダに 囲まれているわけではありません。イスラエルを取り囲んでいるのは、ハマスやヒズボラ、ISIS です。ISIS は、ほぼ居なくなりましたが、イラン、トルコ、ロシア、シリア、ここでの「近所付き合い」は何かと複雑です。そして、この人は夜通し働いています。彼はワシントン訪問を短縮したのです。本来なら今頃 AIPAC（アメリカ・イスラエル公共問題委員会）で見事な演説をして大喝采を浴びているところですよ。それが彼は、今 飛行機に乗ってイスラエルに戻っているのです。ガザ地区でのイスラエルの戦略作戦を指揮するために。

さて、ジャック牧師。ゴラン高原から また話をしますから、そこでお話ししましょう。ともかく、先生は ここに居ることを ワクワクしていますか？ 今回は 18 回目のツアー？

【ジ】 19 回目です。

【ア】 その 19 回の内、18 回で私達は一緒でしたね？

【ジ】 ええ。19 回行った私達のツアーの内、18 回を、アミールさんにお世話になっています。

【ア】光栄です。

【ジ】皆さんに言っておきたいのは、皆さん、ニュースでイスラエルをご覧になって「お祈りします…」とおっしゃいます。もちろん、いつもお祈りを願いますよ。私達には必要ですから！

【ア】でも私達は、皆さんのために祈っています。

【ジ】私は、先ほど地元 チノヒルズの人達に言ったのですが、イスラエルを訪れるのに一番危険なのは高速道路に乗って、ロサンゼルス空港に行く時。あれが、一番危険ですよ。とは言ってもどうか念頭に置いていてください。このツアーは、皆が申込み出来るようにインターネットで、申込みの受付をしたのです。皆、インターネットで申込みなければなりませんでした。

座席数は250。それが7分43秒で完了しました。わずか7分43秒です。

この250名のツアーは満席。この人数が集まったのです。

なぜ？ 神が、何かをされているからです。

【ア】そして みんな、それを見たいのです。

【ジ】 ここに来れば、聖書が鮮明に見えますから。

【ア】ご覧ください。これは偉大なる王の都です。

皆さんも ここに来て、夜がどれほど美しいか ご覧いただければと思います。日中は、さらに美しいです。私達は、皆さんに エルサレムや、ガリラヤ湖、死海沿岸を見る機会を提供しています。聖書が、生き生きと見えるように。これを皆さんに見て頂きたい。それが私たちの願いです。

みんな、主のために熱く燃えて家に帰って欲しいのです。多分2年後にまた、リアル・ライフミニストリーと、一緒に大きなツアーを行うでしょう。さらに大規模で。

【ジ】御心ならば、もちろん！

【ア】ええ、御心ならば。私達には分かりませんが、もちろん、主がまだ来ていなければ、です。その時は、そこ（地上の町）ではなく、あちら（雲の上）です。ちなみに皆さんがエルサレムに来ている間に「携拳」が起これば、こっちの方が早いですよ？

【ジ】ええ。「国内線」ですから。

【ア】そう！「国内線」。ここで祈れば「市内通話」です。

ジャック牧師、お祈りをお願い出来ますか？

ここで現在起こっている事で、心配している人も居るでしょうから。色んな人からメールが届いて言うのです。「とても怖い」「すごく心配だ。」「お祈りしています。」「どうなっているの？」「混乱して来た。」皆が この囂を抜け出て、神の御言葉、神の御心、神のご計画を 理解出来るよう、お祈りしましょう。

【ジ】アーメン。信者のためには、御父が全てを振り分けさせていただきます。あなたのために、私達のために。御父が全てを振り分けくださる。私達の人生に、偶然の出来事はありません。素晴らしいです。もし、あなたがまだ信じていないなら、今、信じる必要があります。

数々の証拠が、あなたの前に立ちはだかっています。私達の信仰は、事実に基づくもの。だから、あなたも



キリストに立ち返らなければなりません。

主よ。感謝します。

天のお父様。あなたの御言葉が、私達に、常にエルサレムの平安のために祈れと 告げています。

その祈りは、実際には、私達がメシアに「来てください」と呼びかける祈りです。

その時、ここに永遠の平和が訪れますから。

しかし お父様。現在、義の器として関わっている 全ての人のために、祈ります。それから お父様、あなたを愛する人々のために、そしてお父様、この国のために。お父様。私達は、アメリカのためにも祈ります。ネタニヤフとトランプのために祈ります。

聖書は、クリスチャンに「上に立つ 指導者や王達、全て権威のために祈れ」と命じています。

私達は、彼らの生活のために祈ります。私達は、彼らの救いを祈ります。そして お父様、成功を祈ります。

私たちが、平穏な生活を送れるように。お父様。アミールの視聴者達を祝福してください。世界中で、私達の知識をはるかに超える、聖霊による一致を与えてください。

イスラエルを守られる方は 眠ることも、まどろむ事ありません。あなたは、偉大なる神。私達は、あなたを信頼し、あなたを見上げます。あなたが私達を迎えに来られる日まで 一日近づきました。

主よ。感謝します。イエスの御名によって。アーメン！

【ア】私達 2 人のメッセージをお聴きになりたい方は、ぜひ、カンファレンスにお越しください。5 月 11 日トロントの「Church on the Queensway」インターネットでご登録ください。BeholdIsrael.org 座席に限りがあります。もうすでに 1600 席以上が埋まって、残り 1400 席を切っていますので、お急ぎください。

ありがとうございます。 God bless you!

偉大なる王の都、エルサレムより シャローム！

God bless you! さようなら。

---

メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>